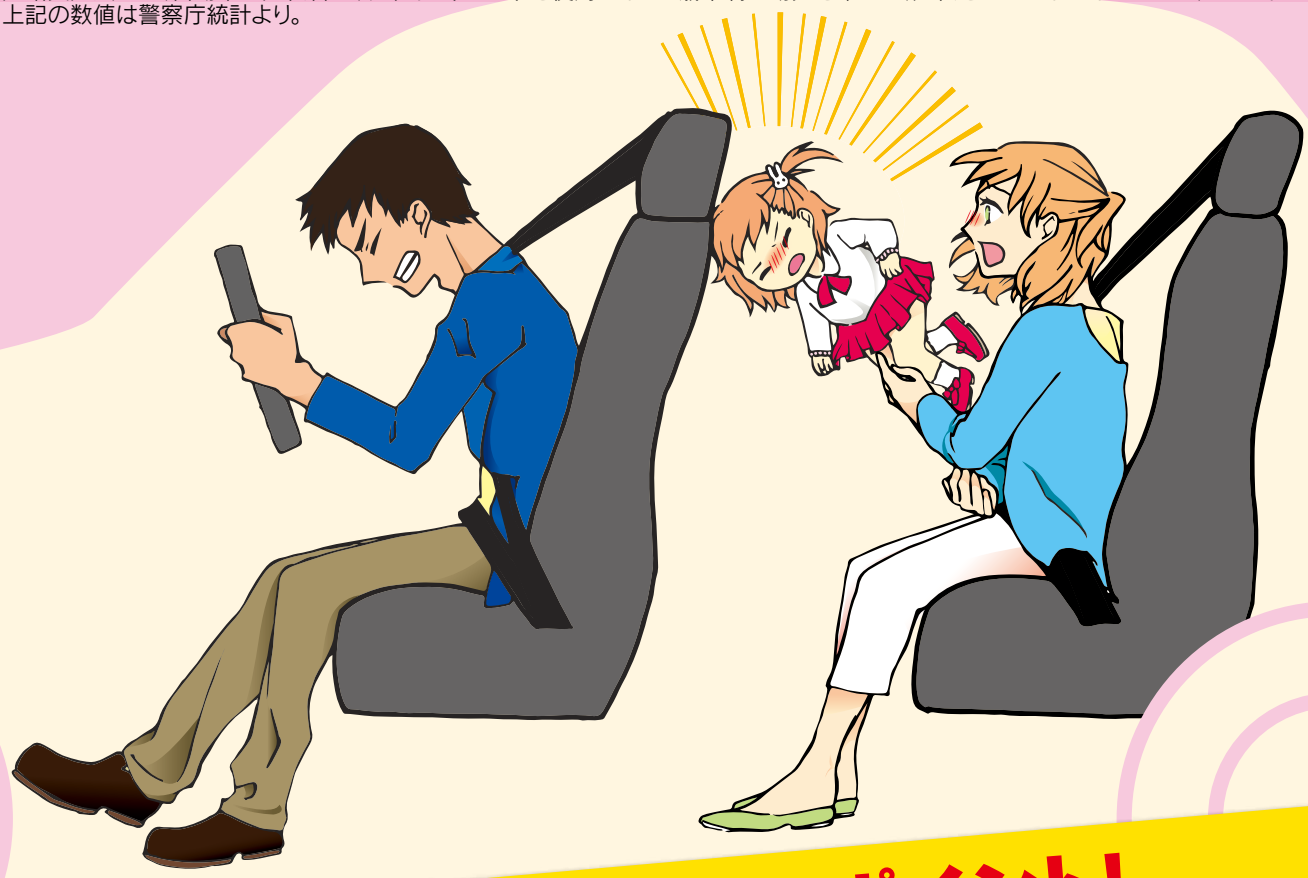
大切な子供の命を守る
チャイルドシート
の正しい使用!!

埼玉県マスコット「コバトン」

チャイルドシートを使用しないと、死亡重傷率は、約2倍も高くなります。
また、誤った使用は事故被害の拡大を招きます。

※道路交通法では、自動車の運転者は、チャイルドシートを使用しない6歳未満の幼児を乗せて、運転をしてはならないことが定められています。
上記の数値は警察庁統計より。



チャイルドシートチェックポイント!

- □ 子供の体格にあったチャイルドシートを使用しているか。
- □ チャイルドシート本体がしっかり固定されているか。
- □ ハーネス(チャイルドシートの子供用のベルト)が緩んでないか。

※上記チェックポイントは、多くのチャイルドシートの共通の取り付け方の一例です。
製品ごとの取り付け方は、製品付属の取扱説明書をご覧ください。
チャイルドシートの使い方は、JAF(一般社団法人 日本自動車連盟)ホームページに掲載されています。

JAF チャイルドシート　検索

彩の国 埼玉県・埼玉県警察・市町村・埼玉県交通安全対策協議会

出発前に
まず確認！

後部座席もシートベルト着用!!

シートベルトを着用しない場合、着用時と比べて**約14倍**も死亡する危険性が高まります。大切な命を守るために、**全席シートベルト着用**を徹底しましょう!! ※数値は警察庁統計より。

シートベルトを着用しない場合の3つの危険!!

1 自分自身が大きな被害

事故の衝撃※で自分自身が天井やドアなどにたたきつけられることになります。

2 車外放出

車外に放り出され、堅いアスファルトに体をぶつけたり、後続車両にひかれてしまいます。

3 同乗者への加害

前席の人を前へ押し出して、命が奪われることもあります。
後席の人がきちんとシートベルトを着用することは、前席の人の命を守ることにつながっています。

※事故の衝撃：時速60Kmで進んでいる車が壁等に激突した場合、4階建ビルの屋上（高さ約14m）から落下したのと同じ衝撃を受けます。

くわしくは、埼玉県防犯・交通安全課ホームページで！

埼玉県　シートベルト　検索